1支部 今年度の事業計画

北海道連合会

域内活性化へ組織強化

鐵顯彦会長

北海道連合会としての昨年度の宿泊券実績は、116億5千万円となり前年並みにて推移しました。実績には「北海道洞爺湖サミット」関連の警備関係者分を含んでおり、一般観光者のみにて換算すると前年を5㌽ほど割込む結果です。昨年発足した北海道観光振興機構の来道者数調査でも、昨年1年間で5㌽ダウンしており、前年を上回った月は1、5月だけで、特に夏のトップシーズンの落ち込みが大きく影響しました。中でも、官民挙げて諸準備を進めてきた「洞爺湖サミット」は世界にアピールできる絶好の機会として波及効果を期待しましたが、逆風をはねつけるには至りませんでした。

本年も厳しいスタートを余儀なくされていますが、北海道連合会としての宿泊券増倍目標は、121億円と全社目標の約10分の1のシェアを担っており、内訳はメイト関係70%、団体その他30%となっております。

今年掲げるテーマは、航空会社施策である新千歳空港への集約(地方空港の減・廃便)による道央圏、その他エリアとの地域間格差拡大の是正及び道外客の誘致、域内の活性化に向けた組織体制の強化であります。

具体的な取り組みとしては、旅連のみならず観光に携わる運輸関係機関・観光施設機関との連携を深めるため「北海道ひまわり会」を立ち上げ、各支部で開催している「情報連絡委員会」を拡大、深化、活発化することに重点をおきます。集客の低落傾向が深刻化している道東・道南地区は元より、各地域で、アピールできる魅力の再発見と告知手法を地道に確立してまいる所存です。

自治体組織との連携も課題の1つであり、入場園者数が減少しているものの、根強い人気の「旭山動物園」を擁する旭川市と角川映画社とのタイアップツアーを新年早々に独自企画として展開し、多数のお客さまに満足いただきました。

全社的に推進される「メモリアル・アニバーサリー」を切り口とした企画提案に関しては、各支部にてスピードをもって計画、実施を始めており、歴史の浅い北海道にとって「函館開港150周年」には、最大のキャンペーン展開をはかっていきます。さらに、さいわい北海道では、全国の国立公園29ヶ所のうち6カ所が指定されており、釧路湿原以外の5カ所(利尻礼文サロベツ35周年・阿寒75周年・知床45周年・大雪山75周年・支笏洞爺60周年)が周年対象となっており、観光組織とのプロモーションにもアプローチしております。道東エリアにおいては、車1台についてキャシュバックキャンペーンを展開予定です。

最後に、昨年実施の「サミット」及び「もうひとつ旅キャンペーン」への観光関係の皆さまの多大なご協力に、改めて御礼申し上げますと共に、本年におきましては、危機感漂う現況の潮流をしっかりと見据えたうえで、連合会事業に取組んでまいる所存でございますので、連盟本部をはじめとして皆さまのご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

東北連合会

ドン底からの出発の年

渡邉和裕会長

お願い申し上げます。

冒頭に、昨年の6、7月に発生した「岩手・宮城内陸地震」「岩手沿岸北部地震」に際し、会員、会社の皆さまよりお見舞いや激励の言葉を賜り、改めてこの場をお借りして感謝の言葉と御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて昨年の東北連合会の宿泊券取り扱い実績は66億7300万円(前年比17%減)と推移いたしました。

前年より続いた原油、ガソリン等燃料費高騰のマイナス要因はありましたが、①平泉の世界文化遺産登録予定(7月)②仙台・宮城DC(10~12月)と起死回生の明るいイベント予定されていましたが、「2度の地震の発生」「予想外の平泉の世界遺産登録延期」「100年に一度といわれる世界的経済危機」と津波が立て続けに押し寄せ、基盤の弱い東北は大波に激しく漂う木の葉のようで、入り込み減少に歯止めのかからない最悪の年でした。

これを受けて本年度の東北連合会宿泊券目標は、79億7千万円(前年比19%増)と設定されました。

本年は「先行きの見えない経済状況」「衆議院、地方選挙」と逆風が吹いておりますが、①定額給付金②高速道路料金の大幅引き下げ③「篤姫」をしめくくと言われ、好評放映中のNHK大河ドラマ「天地人」④ポスト「仙台・宮城DC」⑤プレ青森新幹線全線開通(2010年12月開通予定)⑥山形庄内新潟DC——を「域外誘客」の核としていきます。

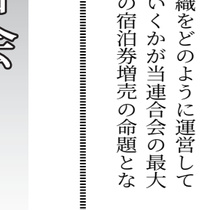
さらに①支部間対抗メイト商品販売コンテスト②会社が積極的に推し進める「記念日」「着型観光素材」を切り口とした企画商品の開発——を「域内誘客」の核として、情報連絡員を先頭に、会員の皆様と「本年はドン底から這い上がる出発の年」として積極的に宿泊券増売、誘客活動を進めてまいります。

今年も連合会事業に更なるご協力、ご支援の程お願い申し上げます。

そして最後に9月に開催いたします「第6回支部間交流事業in仙台」は、東北ならではの余興をご用意してお待ちしております。また大河ドラマ「天地人」は9月から東北が舞台となりますので、数多くの会員の皆様の来訪をお待ちしております。

関東甲信越連合会

小規模団体、取り込みへ


髙島哲男会長

昨年新たに関東甲信越連合会が発足し、これまで以上に広域となった組織をどのように運営していくかが当連合会の最大の宿泊券増売の命題となりました。一昨年までは2支部での協同企画の商品造成を進めてまいりましたが、昨年は支部単独で出来ることに対して、連合会が充分な支援を行うことを主眼として、事業活動を進めてまいりました。

その中でも高速道路のETCを利用した商品の取り組みは、本年も引き続き商品造成することができると考えております。ETC販売促進のためにさまざまな特典ができるというニュースが方々で聞かれますが、マイカー利用の商品群を各支部が事前に用意し、それをメイト商品やEクーポン等でタイムリーに商品化することこそ、会社が進める支部間対抗域内商品販売コンテストの新機軸にもなると考えております。

また、山梨支部が行なっている大河ドラマやJRデスティネーションキャンペーン(DC)といったイベントを長期間持続させる取り組み(単独支部によるキャンペーン)を他の支部でも実践し、宿泊券増売に繋げ、個人旅行だけでなく、団体旅行とともに底上げを行なう必要があると感じています。

連合会内では、本年、新潟は大河ドラマやJRDC、長野は善光寺ご開帳と次年度JRDCといったトピックスもあり、いかに売れる時期にきちんと売り切り、次年度につなげていけるかを情報連絡員会議の場で議論を進めていくようにしたいと考えております。特に小規模化する団体旅行を恒常的に取り込めるような施策を支部ごとに検討してもらい、それを連合会が支援するといった取り組みも検討しながら、宿泊券増売を進めていきます。

ともあれ、連合会全体での取り組みがなかなかできない環境にあります ので、合同情報連絡員会議を開催することや9月に行なわれる支部間交流において、連合会での参加者全体の意見交換会も本部長や専任幹事も皆さま方と一緒に実施し、良い事例の情報交換を進めてまいりたい所存です。

最後になりますが、会員の皆さま方と会社の方々のこの1年がよりよい1年になりますように、連合会全体でがんばってまいりますのでご指導ご鞭撻のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。

近旅連本部総会後に稲葉会長代行より首都圏連合会会長の大役を引き継ぎます、神奈川支部の榎本でございます。何分不慣れなため、会員皆さまのご支援よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は原油価格高騰による諸物価の高騰による消費の落ち込みに始まり、夏季繁忙期には北京オリンピックテレビ観戦者が増え旅行客の足が鈍り、さらには米国でのサブプライム・ローン問題に端を発した世界的な金融不安とそれに伴う急激な景気悪化の波を受けて以降、昨年の中部連合会全体での宿泊券販売額も、前年比3%減と大変厳しい結果となりました。地域別では北陸地域が同1%減となり前年比では2ケタ伸長となりました。これもひとえに会社の販売努力と会員の皆さまのご協力のおかげと感謝しております。一方、東海地域は、前年比4%減でした。輸出型産業が多く存在するこの地域は、金融不安による世界経済の減速、円高等の影響を大きく受けた格好となりました。

さて、今年の中部連合会の活動ですが、組織の目的である近旅連会員の宿泊券増売に向け、「メイト商品販売コンテストへの参画」「域内への誘客活動」「域内からの情報発信」に取り組み、域内販売の強化を図って参ります。

メイト商品販売コンテストへの参画では、本年より近旅連と会社の共同事業で実施されますこのコンテストに各支部が参画致します。情報連絡員による地域の「新たな魅力ある観光素材」を発掘し、コンセプトを明確にした上で商品造成に取り組みます。この厳しい環境をチャンスととらえ、お客さま目線に立った商品により地域需要の創出を図ります。

また「域内への誘客活動」「域内からの情報発信」では、KNT中部観光産業推進協議会(KNTパートナーズクラブ)との共催で取り組みます。国内誘客としては、7月に名古屋市にてKNT・KNTツーリスト社を迎える2015年のグループビジョンとして、「旅を基盤として世界中に『豊かな時空間』を創造する企業グループを目指す」と宣言されました。連合会としても会社の目指すビジョンを支持し、連携することにより近旅連会員の「宿泊券増売」に取り組む所存です。今後とも中部連合会の事業活動にご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

中部連合会

域内情報の発信に注力

堀泰則会長

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的金融危機による厳しい経済状況の中、昨年の中部連合会全体での宿泊券販売額も、前年比3%減と大変厳しい結果となりました。地域別では北陸地域が同1%減となり前年比では2ケタ伸長と

首都圏連合会

「何かを仕掛ける」がカギ

榎本孝弘会長

昨年度の首都圏連合会総会(08年4月9日、東京・千代田の九段会館で開催)

近旅連総会特集

伊豆の旅…東も西も銀水荘

一足早い　伊豆の春　花も空も海も輝きだす
優しい季節にお出かけください。

稲　取「雛のつるし飾りまつり」期間／1月20日～3月31日
河　津「河津桜まつり」期間／2月7日～3月10日
南伊豆「みなみの桜と菜の花まつり」期間／2月5日～3月10日

稲取 雛のつるし飾りまつり期間中、
稲取銀水荘ロビーには、多くの雛のつるし飾りを展示し、皆様をお迎えしております。
堂ヶ島NEW銀水では、長さ14メートルの雛のつるし飾りを展示しております。

Ginsuiso Information

◆稲取店インフォメーション
「雛のつるし飾り手作り教室」
愛らしい、あなただけの「つるし飾り」をお作りください。(有料)
●期間／1月20日～3月下旬

◆堂ヶ島店インフォメーション
「サンセット・ワインサービス」
駿河湾に沈む夕映えの美しい感動を皆様と。この期間、ロビーにて夕陽に包まれての「ワインサービス」をさせて頂いております。
●期間／3月上旬迄

春爛漫 銀水紀行

堂ヶ島 NEW 銀水
〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科2977-1
TEL0558・52・2211(代)

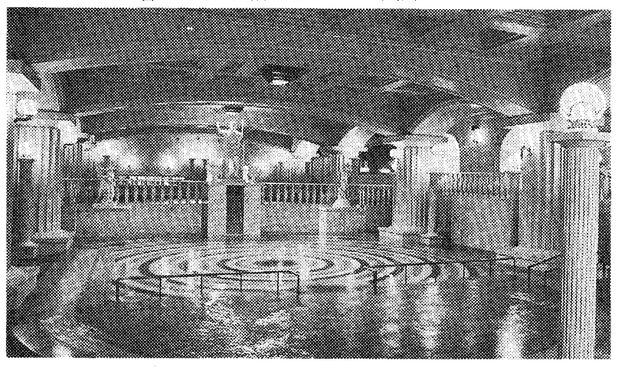
稲取 銀水荘
〒413-0411 静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1624-1
TEL0557・95・2211(代)

集中予約センター
TEL0557-95-2215
http://www.ginsuiso.co.jp/

あたたかな　心に残る　おもてなし

優雅な雰囲気の中に満々とお湯をたたえたローマ風呂。その大きさ、美しさ、心地良さに感動します。併設の打たせ湯、寝湯、ボディシャワー、サウナ、飲泉でヘルシーなクア体験も満喫できます。
湯快な旅の思い出をどうぞ。
☆花の風呂、家族風呂、海の見える露天風呂、プール

▼250坪 300名が同時に入浴できるローマ風呂



あわただしい毎日を忘れて、ゆったりとすごす時間の贅沢。相模湾の海の碧さや夜景の煌きが、大きなやすらぎを演出します。広々とした客室から熱海湾に出入りする遊覧船を眺めながら、旅先での語らいをお楽しみください。また、朝夕のお食事は、ゆっくりとお部屋でお召し上がりください。新鮮な海山の幸の味わいをお届けいたします。

熱海温泉・ローマ風呂
ホテル大野屋
熱海市和田浜南町3番9号　TEL 0557(82)1111(代)
FAX 0557(83)0026
http://www.hotel-ohnoya.co.jp

近旅連 8連合会

関西連合会

「お客さま紹介」積極推進

佐野喜一郎会長

昨年度の関西連合会の宿泊券取扱実績は、全体としては07年に世界陸上大阪大会のビックイベントがありましたので前年比10％減と前年を下回りました。

世界的な金融不安による景気の不透明感が産業界に大きな影響を与えており、厳しい環境の中ですが関西連合会事業の大きな柱である宿泊券増売については、本年度宿泊券目標221億円の達成に向けて取り組んでまいります。本年度は「お客さま紹介運動」「関西に泊まろうキャンペーン」「社員研修の受け入れ」「みちしるべ」の4事業に継続事業として取り組み、新規事業としては「着地型商品造成」に会社企画担当者と連携して取り組みます。

お客さま紹介運動は私達会員の人脈を生かして会社の販売の底上げを図るものです。昨年度は目標比32％増と実績を上げることができました。販売箇所の皆さまと会員のコミュニケーションを深めることができる機会ですので、本年度も積極的に取り組んでまいります。

関西に泊まろうキャンペーンは、eビジネス事業部カンパニーと連携して展開していきます。昨年度は実施期間が10～12月と金融不安の逆風が吹く中で、販売高が前年比2％増と前年をクリアすることができました。ウエブ展開ですので、本年度もいかにお客さまに満足していただけるかを工夫して「関西」を売り込んでいきます。

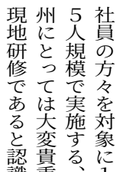
社員研修の受け入れは会員皆さまのご理解、ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

「みちしるべ」は情報連絡委員会活動の新規事業として「着地型商品造成」の開発を商品造成箇所の仕入メイト事業部と連携しながら行います。各支部の情報連絡委員が足でつかんだ地元独自情報や、地域誘客の観点から行政より得た情報を生かして商品造成開発を目指します。この事業では旅連本部で「支部間商品コンテスト」が開催されます。

以上の方針で宿泊券目標に向けて地元関西営業本部及び関西仕入メイト事業部と連携しながら関西連合会の事業活動を展開してまいります。

九州連合会

社員研修支援を重視


高倉照矢会長

昨年の九州連合会の事業活動は3カ年事業計画の最終3年目として、継続事業を着実に実施しながら、年間宿泊券販売において前年を少しでも上回ることを最低の目標として事業活動を展開してまいりました。

結果、当連合会管内へのKNT宿泊券販売実績は、残念ながら前年比9％と前年を3％程割る結果となりました。全国的に苦戦する中若干の前年割れで終わったのも、各支部の情連メンバーの方々が中心となり全会員が積極的に販促活動をしてくださった賜物と会員各位に敬意を表します。

また連盟本部が継続事業として取り組んでいる「お客さま紹介運動」についてですが、昨年も各会員の皆さまの多大なるご支援、ご協力によりまして5年連続して連合会紹介目標額を達成いたしました。5年連続して目標を達成できるということは、九州においてまだまだ地元KNT支店への応援、KNTファンの会員が沢山いらっしゃる証拠でしょう。つきましては紹介を受けた支店の社員の皆さまには、紹介顧客への迅速な対応とリピーターにつながる接客を是非お願い申し上げるとともに、本年も6年連続目標達成を目指して「お客様紹介運動」を盛り上げていきます。

さて、本年度の連合会事業活動におきましては、7つの事業を計画しておりますが、その中で最も力を入れる継続事業が「メイト九州社員現地研修」であります。

この事業は仕入メイト事業部が主管となり、九州連合会がバックアップする研修事業で、日頃メイト商品をお客さまとの対面販売を担当している社員の方々を対象に135人規模で実施する、九州にとっては大変貴重な現地研修であると認識しております。この社員研修の実現にあたりましては、KNTの多くの方々のご尽力とご支援を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

2番目の事業は域内宿泊増売キャンペーンの1つである「支部間対抗域内商品コンテスト」です。KNT・KNTグループの力強いバックアップの元、九州連合会1つになりキャンペーンを盛り上げ、ぜひ成功するよう支援してまいります。九州連合会と致しましてもご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

中国四国連合会

会社側面支援する組織へ

大木正治会長

今年度より井山会長の後を受け、中国四国連合会会長という大役を仰せつかりました大木でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の日本経済は非常に変化の激しい年であり、われわれの業界にも大きな影響を与える結果となりました。中国四国連合会管内の宿泊券動向を見てみましても宿泊券販売目標比13％減、前年比3％減という大変厳しいものであったとお聞きしております。そこで、これからもしばらく厳しい経済情勢が続き、先行きが不透明と見られる中、中国四国連合会では、この局面を乗り越えるべく次の事業を展開してまいります。

まず、旅連と連携した宿泊企画商品「みちしるべ」のウェブ展開です。コンピューター提供客室の消化率向上とタイムリーな観光素材を発信して参ります。次にeビジネス事業本部カンパニーと協同した期間限定の「メイト」宿泊増売キャンペーンを行い、お客さま特典と共に地域の魅力を露出アップいたします。そして、3つ目は域内相互の交流人口拡大を図るため、旅連と国内旅行部との共同事業「支部間対抗『域内商品』コンテスト」の積極的な支援です。これにより鈍化している各支部の情報連絡委員会の活性化を図ってまいります。

また、今年は地域的に大きなイベントが少ない中、四国地域においては「しまなみ海道10周年」といった節目の年にあたります。そこで旅連の四国各支部では行政も巻き込んだ熱い要望を会社に伝え、4～9月の間「笑顔！にっぽんキャンペーン・スマイル四国」を展開していただくことになりました。今年は四国を舞台とするスペシャルドラマ「坂の上の雲」、連続テレビ小説「ウェルかめ」などが放映されると共に、しまなみ海道の通行料引下げなども加わり、交流人口の拡大も期待されるところです。

今や単一機関で誘客する時代は終わりました。そういった意味においても地域や組織で行う旅連合の機会を宿泊券増売の大きなチャンスと捉え、しっかりと受け入れ協力体制を整え、各支部の協力を仰ぎながら、ぜひとも成功させたいと念じております。

以上を本年の事業活動の根幹として、九州7支部の協力体制のもとに、宿泊券販売拡大に努力して参ります。

本年も一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

沖縄支部

海外商品研究し対抗

宮里一郎支部長

昨年のTDL25周年や原油高騰・秋以降の景気冷え込みにもかかわらず、沖縄観光への多大なご支援ご送客、誠にありがとうございました。皆さまのご尽力のお陰で、国内旅行の競合の多い年と言いながらも、何とか前年並み近い数字を達成できそうであります。

しかし、県の掲げた620万人は難しい状況であり、07年まで6年連続で伸ばしてきた入域観光客数も、昨年は厳しい状況となりました。

そんな中、09年の展望としては、昨年とは異なったマイナス要因が多く考えられます。

その1つは、海外旅行を促す要因として燃油サーチャージが大幅に安くなることと、円高の進行により海外旅行者へメリットがあることです。これは昨年までの円安と燃油サーチャージ高の問題が全く逆転してしまうので、沖縄と競合する海外旅行商品を充分に研究して対抗できる商品造成を提案しなければなりません。この円高による問題は、外国人などのインバウンドにも大きく影響しています。

次に、米国サブプライムローンを端に発した経済不況ですが、行き先不透明で景気回復がいつ見込めるのか全く読めません。現に1～2月の沖縄入域観光客数も、これらの影響を受けてか、一般団体を中心に大変厳しい状況となっています。

しかし、タイやインドなどアジア諸国の政治不安により、卒業記念旅行や修学旅行は安定した推移をうかがわせていますので、09年は沖縄観光にとって、今までに無かった要因が発生していますが、県内には新しいホテルの進出も目白押しで、初めて沖縄本島南部にオープンする大型ホテルや那覇・中部エリアにオープンするホテルが数軒あるなど、活性化につながる話題もあります。

沖縄支部としても情報の発信を怠ることなく、活動を進めていきたいと思っております。皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

近旅連総会特集

各連合会・支部総会　開催日程

	実施予定日	会場
北海道連合会	3月11日（水）	北海道札幌市、ホテルニューオータニ札幌
東北連合会	3月17日（火）	福島県郡山市、ホテル華の湯
関東甲信越連合会	4月6日（月）	茨城県大洗町、大洗ホテル
首都圏連合会	4月9日（木）	東京都千代田区、九段会館
中部連合会	4月3日（金）	愛知県名古屋市、名古屋観光ホテル
関西連合会	4月10日（金）	大阪府天王寺区、シェラトン都ホテル大阪
中国四国連合会	4月13日（月）	島根県松江市、ホテル一畑
九州連合会	4月15日（水）	宮崎県宮崎市、宮崎観光ホテル
沖縄支部	4月17日（金）	沖縄県那覇市、ホテル日航那覇グランドキャッスル

第54回通常総会：　2月18日（水）　シェラトン都ホテル東京

NEXT「エンタメ研究会」

「平成旅館塾」始動へ

若手経営者ら「語る」場提供
KNTの新たなファン作りも

このほど近旅連は、会員の若手有志が集い、互いに意見を交し合って研さんを深める研究会「平成旅館塾」を立ち上げる方針を固めた。平成旅館塾は、197会には通算300人以上の会員が参加し交流を深め、参加者の中からは全国有数の旅館ホテルとして、また観光地として発展したところも少なくない。

研究会の終了から6年が経過し、旅館ホテルを取り巻く環境はさらに厳しさを増した。その中で、現実にさまざまな問題について会員同士が議論し合い、さらにそのような場を共有することで連携を深めるために開催された。全22回の研究直面している課題の解決に実効性のある研究会、また次代を担う2世3世の旅館経営者が学び、交流する場を求める声が会員内から挙がったことから、近旅連は平成旅館塾立ち上げへ動き出した。

平成旅館塾は、年2回程度、2泊3日の日程で開催。旅館ホテルの基本「おもてなし」を基本テーマとして取り上げるほか、各会員が抱える諸問題についても取り上げる。

エンターテイメント研究会は、多様化する旅行形態や消費志向の中で、旅館ホテルがどのようにあるべきか、その「もてなし」の精神や経営課題、日々起こるエンターテイメント研究会「平成旅館塾」始動へ

エンターテイメント研究会OBや旅館経営者、異業種経営者などから幅広く講師を招きセミナーを開くだけでなく、参加者が積極的に発表したりグループ討論したりする点が特徴。さらに参加者を「若手、中堅会員」とすることで、交流の場が少ない若手経営者同士で、互いの抱える問題や悩みを共有、解決してもらい、会員同士の横の連携を強固にしてもらいたい考えだ。

またKNTの役員や社員との交流の場も設け、今後の近旅連を支えるメンバーとしてのKNTファンを増やす狙いもある。

第1回目は今年11～12月ごろの開催を予定している。

進化する日本の宿。さらなる上質のおもてなしを求めて……

「新・星の棟」

さらにゆったりとした斬新なしつらいと、より上質なおもてなしの数々…。

人気の星の棟をさらにグレードアップして新しい客室八室（露天風呂付）と改装八室を加え、「新・星の棟」としてリニューアル。お客様の滞在空間にこだわり、満ち足りた時間をご提供いたします。

旬彩 仁三郎 Haute Couture Dining NISABUROU

新・和風クラシカル、進化する日本の宿
北陸・加賀　山代温泉
瑠璃光（るりこう）
〒922-0295 石川県加賀市山代温泉
TEL.(0761)77-2323（代）
http://rurikoh.jp

オートクチュールダイニング（新しいプリフィクススタイルの食空間）の誕生。
作り手の顔が見える空間で作りたての美味しさを堪能する、お客様本位の食の工房です。
地産地消にこだわった旬の味わいをお楽しみいただけます。

・特別展のご案内・
「皇室の衣装展」
平成21年2月11日～4月12日

◆開館時間　9:00～17:00　年中無休
◆入館料　一般 1,500円　大学生1,200円　高校生600円　小・中学生300円

薩摩伝承館
『ここに来れば薩摩がわかる』
薩摩の歴史に触れ、薩摩焼や中国陶磁の名品に囲まれ、ゆっくりとした時の流れをお楽しみ下さい。日本の伝統建築の美しさを今に伝える建物。そこには記憶に残る和の風景が広がります。

湯・味・心に歴史をそえて

元緑風呂

砂むし温泉

本土最南端　砂むし温泉
指宿白水館
〒891-0404　鹿児島県指宿市知林の里
TEL0993-22-3131　予約専用0993-23-3898
ホームページ　http://www.hakusuikan.co.jp